

授業科目 神経系評価学

【担当教員名】 高木昭輝	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
理学療法学が対象とする神経系・筋系障害を総合的にとらえ神経生理学、筋生理学、神経学、筋学を基礎とし、理学療法の臨床の知に蓄積されている評価学を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 1 基礎的な神経学的障害・筋学的障害による運動障害について例を挙げて説明することができる。
- 2 一般的な神経学的・筋学的異常性について説明することができる。
- 3 一般的な神経学的・筋学的異常性について理学療法的アプローチを列挙し、治療することができる。
- 4 一般的な神経学的・筋学的異常性について、効果的な代償的手段を列挙し、池沼できる。
- 5 一般的な神経学的・筋学的障害に対して、広く社会参加、QOLの向上などを広範囲かつ柔軟に配慮することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション	の	講義
2	神経系障害の代表的な障害を考える。(1) (CVA, MS, ALS, Parkinson's disease)	1,2	講義
3	神経系障害の代表的な障害を考える。(2) (Guillain Barret, SCI, Polio etc)	1,2	講義
4	神経系障害の代表的な障害を考える。(3) (SCD, leprocy, CP etc)	1,2	講義
5	2回目の例に対する理学療法的評価(診断)をまとめる。〔7回目発表の準備〕		1,2,3 講義および学生同士で協議
6	発表の準備		1,2,3 学生同士で協議、準備
7	発表		1, 2, 3, 4 発表
8	3回目の例に対する理学療法的評価(診断)をまとめる。〔8回目発表の準備〕		1,2,3 講義および学生同士で協議
9	発表の準備		1,2,3 学生同士で協議、準備
10	学生の発表		1,2,3,4 全員が交代で発表
11	4回目の例に対する理学療法的評価(診断)をまとめる 1, 2, 3, 4, 5		1,2,3 学生同士で協議、準備
12	発表の準備		1,2,3 学生同士で協議、準備
13	筋ジストロフィー症(1)	1, 2, 3, 4	発表
14	自習または振り替え授業	1, 2, 3, 4, 5	
15	まとめ	1, 2, 3, 4, 5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	理学療法のとらえ方-clinical reasoning: 奈良 勲編集、文光堂			
参考書	理学療法技術ガイドブック: 文光堂 理学療法マニュアル: 南江堂 他にも紹介する。			
その他の資料	カラーで学ぶ解剖生理学: 州崎悦子 他訳、医学書院 神経系理学療法: 真野行生監訳、医歯薬出版			

【評価方法】 授業貢献度、出席、発表、期末試験などを総合的	【履修上の留意点】
----------------------------------	-----------

理学療法学科 専門